

文書様式の活用法（2）

歯科衛生実地指導料の文書を混合歯列期歯周病検査用紙として利用する。

歯科衛生実地指導 1・訪問歯科衛生指導 (文書様式3) H30

口腔衛生管理様 年 月 日

歯と歯肉の状態

- よく磨けています
- 磨き残しがあります (///部)
- 歯石がついています
- 歯ぐきに発赤・出血・腫れがあります

その他

- 舌苔 (舌の汚れ)
- 齦歯下粘膜の汚れ
- その他 ()



現在 () 本

指導内容

時間 (: ~ :)

混合歯列期歯周病検査ではプラークチャートが必要となるが、このチャートは歯科衛生実地指導に活用することができる。文書様式3の歯式図に、プラークチャートだけでなく、プロービング時の出血の有無を記載する。

歯科医師の指示のもとに行う、歯科衛生士による実地指導内容を記入する。

混合歯列期の児童、生徒に対して、2種類の用紙を渡すこともなく、検査内容とそれに伴う指導を分けて説明することもなく、患者の理解や協力が得られやすくなる。また、医療機関の負担も減少する。